

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
こどもプラス神埼教室		2026年3月16日				
チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	運動スペース、学習スペース等活動環境に応じて工夫している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0	普段はできているが、イベント時等は利用人数も多くなるため、見守りや確認を行っている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	活動スペースはマットで色分けをし、こども達にわかるようにしている。安全性を考え、厚みのあるマットを敷き、事故けがの防止につとめている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	児童が帰所後に毎日、掃除と消毒をおこなっている。運動スペース、学習スペース等それぞれに合わせた設定をしている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	必要に応じて別室を使用し、クールダウンにも活用している。個別対応が必要な時は、学習スペースを使用している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0	職員間で毎日ミーティングを行っている。毎日のミーティングの中で情報を共有している。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	毎年保護者向けアンケートを実施している。送迎時に意見を聞いて、改善している。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	毎日ミーティングの中で情報を共有している。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	4	現在できていない。	可能な限り行っていきたい。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	運動・虐待・身体拘束などの研修を実施している。FC研修に参加したり、支援についての勉強を行っている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	日々の取り組みを連絡帳で伝える。計画書に基づいてスタッフ間で共有している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	毎年アセスメントを記入してもらっている。スタッフ間で話し合い、意見など合わせて計画を立てている。保護者と直接話し、次の計画書の作成を行っている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	作成時に担当者会議をし、情報共有や個々の児童に合った支援計画をしている。毎日のミーティングで話し合いをし、共有している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	それぞれ児童に沿った支援ができるよう情報共有を行っている。ミーティングで伝え、共有している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1	アセスメントをもとに日頃の取り組み活動の中でこの児童に適した活動の支援を行っている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	児童の支援に必要なことを具体的に支援内容を立て、それをもとに活動支援を行っている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	イベント、行事などスタッフで意見を出し合い計画している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	長期休暇や土日などは外出などのイベントを取り入れている。毎日、運動遊びを決めたり、土祝日や長期期間はイベントを企画している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	組み合わせ状況に合わせて活動を提供している。スタッフが間に入り、集団での活動に参加できるようにしている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	毎日ミーティングの中でその日の利用者、送迎など確認をし気になることなど情報共有をしている。	

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	気になる点、送迎時、保護者とのやり取りなど情報を共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	毎日、支援内容を記録し気になる点は話し合い、改善に努めている。情報共有をしている	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	定期的にモニタリングを行い、見直しをしている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせず支援を行っているか。	6	0	4つの基本活動にそって組み合わせ活動提供を行っている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	玩具等はそれぞれ児童がとりやすい場所に配置しており、活動について自己選択ができるようにしている。自主的に使用したものを選び、片付けがしやすい習慣にしている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	児童発達支援管理責任者が参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	学校との連携、保護者をとおしてかかりつけ病院の指示を確認している。学校や他事業所、相談支援専門員との連携をしている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0	学校や自宅への送迎時にその日の様子、行動など確認し情報共有をおこなっている。毎週末に時間割の確認や、送迎時間の確認を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	1	就学前の情報を保護者や相談支援員から共有してもらっている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	0	相談員をとおし、事業所から情報を共有してもらっている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	3	あまりできていないと思う。	今後、研修を受ける機会に参加していきたい 必要時に応じて参加していきたい
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	3	あまりできていない。 図書館などの読み聞かせなどに参加している。	機会があれば参加していく
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	5	参加できていない。	機会があれば参加していく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	送迎時にご家庭での様子を情報共有している。その日の様子、学校からの伝達など送迎時に伝えている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	1	研修は行っていない。保護者より相談を受けたときは、情報提供をしている。家庭での様子・保護者の不安などを聞き情報共有に努める。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	契約時に伝え、また質問があったときに伝える。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点も踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	担当者会議のときに話し合いをしたり、自宅送迎のときに直接話を聞いたりしている。管理者が保護者に計画を立てるときに連絡をしている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0	児発管が行ってる。同意後、サインをもらっている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	相談があれば、スタッフが共有し児発管が助言などを行っている。保護者からの悩み相談は送迎時に聞いたり、必要であれば面談電話で対応している。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	1	5	要望があれば、可能な限り対応できるように努めたい。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	管理者が対応を行っている。その後保護者に説明をし、今後に繋がる対応・改善をしている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	ホームページでのおたよりの発信や必要時SNSで保護者へ連絡している。毎月行事予定をおたよりを配布している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	鍵のついた書庫で保管している。	

	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	児童一人一人の特性に合わせ、対応し保護者に伝えている。視覚障害者の児童には視覚的支援や学校との情報共有を行っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	5	現在は行っていない。	今後、機会があれば取り入れたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	マニュアルなど作成し、周知している。年に数回訓練・感染症予防などを実施している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	業務継続計画の策定を行い、定期的に避難訓練・災害訓練を実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	保護者と情報共有を行い、全体で周知し対応できるようにしている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	今は対象となる児童がいない。	保護者と情報共有していきたい。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	担当のスタッフが安全確認に基づき、定期的に研修が実施されている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	教室での取り組みなどは、保護者へ伝えている。児童のノートに当日の様子（写真）を示している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	毎日のミーティングの中でヒヤリハットがあれば情報を共有し、再発防止に努めている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	虐待防止研修を定期的に行っており、研修内容をまとめ、報告書を作成している。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0	今は対象となる児童はいないが、保護者への説明を十分に行い導入を得て対応する。身体拘束を行う事例が今のところないが、やむを得ず行う場合は計画書に記載する。	